

会 派 代 表 質 問 と 回 答

3月議会では新年度の市政全般について議会各会派による代表質問がおこなわれます。下表は施政方針のどこに質問が向けられたかを示しています。

紙面ではその一部のみを紹介していますが、質問項目の詳細および回答のすべては、議会ホームページで見ることができます。

		プ ラ ン	未来のまち	日本共産党 太宰府市議団	太宰府 市民ネット	宰 光	太宰府新政会	公明党 太宰府市議団
施 政 方 針 に つ い て		冒頭フレーズ		○				
	1	市民参画の行政、街づくりで地域創成	○			○	○	
	2	学問の神様にふさわしい教育、子育て	○	○		○	○	○
	3	徹底した行革と超成長戦略で財政再建	○	○	○	○	○	○
	4	積極的広域連携による大太宰府構想	○			○		○
	5	環境重視の逆転の発想で渋滞解消	○	○				
	6	民間の知恵を生かした高齢者福祉	○					
	7	自衛隊と連携した市民の安心安全	○					○
		総合計画	○	○	○			
		結びのフレーズ		○				
施政方針以外						○	○	○

○は質問と回答の概要を掲載している項目です。



地球温暖化について説明できる人？

Q 環境フェスタがなくなるような
施政方針の書きぶりであるが、
学校内の「小学校における移動自然博物
館事業」では簡単に置き換えることはで
きないのではないかと考える。環境フェス
タの今年の予定を伺う。

A 環境フェスタは、近年、参加人
数や参加団体の減少もあり、
本年度、環境関係団体の皆様から内容
や手法について、考える時期に来ているの
ではないかというご意見をいただいたと
ころです。このため、これまで開催してま
いりました環境フェスタを休止し、今後の
在り方について関係団体と協議してまい
りたいと考えております。また、環境教
育・学習の推進につきましては、継続した
取り組みとして考えており「小学校にお
ける移動自然博物館事業」を後継事業
の一つとして実施し、子どもの頃から生
物多様性に関する理解を促進し、環境
保全に重きを置く人材の育成に努めて
まいります。

問

環境教育・学習の推進はどうなるの

か
さ
り
つ
よ
し
笠利 毅 議員

未来のまち



日本共産党
太宰府市議団

こうたけ あや
神武 綾 議員

問 学校施設の整備の予定は

Q 現在、学校施設整備基本構想（案）が検討され、今年度末3月には策定される予定になっている。水城小学校、学業院中学校については老朽化が激しく早急な対応が必要であり、計画の策定が待たれる。進捗状況を伺う。

A 現在、構想案の策定作業を進めており、この中で学校施設の現状と課題を整理し、児童・生徒数の短期的な推移や将来数を見込み、必要な教室数や財政面等も含めて俯瞰的に検討を進めております。この案も参考にしながら、水城小学校や学業院中学校を含めた学校施設のあり方についてできるだけ早く結論を出せるよう更に努力してまいります。

太宰府市民ネット

むらやま ひろゆき
村山 弘行 議員

問 佐野東地区まちづくりに対する市長の考えを問う

Q 計画的なまちづくりの推進について伺う。

A 令和発祥の都にふさわしい太宰府ならではのまちづくりを推進するため、エリアごとの人口動態や地形、交通条件などを考慮した戦略的まちづくりを目指していきます。

令和元年度の施政方針の中で、「ミーズが撤退した五条駅周辺についてはできるだけ速やかに用途地域等の見直しの検討を行い新たな発展を目指すと共に、佐野東地区等についても同様の検討を行います。」と述べられた。しかし、今回の施政方針では、五条駅周辺や佐野東地区という特定の地域には一言一句触れられていない。

佐野東地区のまちづくりについては、民間手法を基本とし、地域の動向に対応していく考えに変わりはありません。JR太宰府駅の設置の可能性も含めて引き続き検討してまいります。

佐野東地区のまちづくりについては、その時々市長の政策ではなく太宰府市の政策であり、市長が代わったからと言って中止にするようなものではない。JR太宰府駅の設置も含めて市長の見解を伺う。



佐野東地区

宰 光

原田 久美子 議員

問 民間委託後の学校プール扱いは

Q ①令和2年度の施政方針では、「民間プール等を活用した水泳授業事業」を、令和元年度実施校に加えて太宰府小学校も対象とするとの事だが、民間プールまでの児童の移動手段はどうするのか伺う。

②残りの小学校4校と中学校についての水泳事業委託計画、及び、委託した学校のプール跡地の今後の使い道を伺う。



水城小学校のプール

A ①令和2年度から対象に加える太宰府小学校の水泳授業についてはスイミングスクールが所有するマイクロバスで送迎してもらう予定です。

②民間プール等を使用した水泳授業を実施していない小・中学校については、事業者等と協議していきます。利用しないプールについては、既に水道代が大幅に抑えられ、教職員による日常的なプール管理の手間を省かれています。が、解体費用なども見極めながら今後のあり方を検討してまいります。

太宰府新政会

橋本 健 議員

問 坂本八幡宮を新たな観光スポットに

Q 「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す」

坂本八幡宮は、今や令和ゆかりの地として全国から脚光を浴び、参拝の方々は福岡を始め日本各地から毎日お見えになつていらっしゃる感謝に堪えない状況である。

このような状況が一過性で終わるのではなく、本市における新たな観光スポットとして永久的定着できるような方策が不可欠であると考えるが、今後の方針について伺う。

A 坂本八幡宮の新たな観光スポットとしての定着について、梅

花の宴の再現などの関連イベントや来年度予定される全国史跡整備市町村協議会総会、史跡指定100年イベント等を通じて令和発祥の都太宰府としての更なるブランディングデザインを行い、観光スポットとしての定着を図ります。また、そうした機会を捉え本市史跡の更なる維持保存、活用に提言や陳情を重ねると共に、今後に向けての具体的な計画策定を図り、更なる魅力化を図ってまいります。



大宰府展示館「梅花の宴」再現ジオラマ
(公財)古都大宰府保存協会所蔵 製作者 山村延輝

公明党太宰府市議団

さかい
剛 議員



問 高齢者の自動車運転をめぐる 安心・安全を支援せよ

Q 本市議会においては、昨年の9月議会において可決された「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書」を、国の関係所管へ提出した。そして昨年の12月には、国による安全運転サポート車の購入等を補助する、「サポカー補助金」が、国の補正予算に盛り込まれたところである。

そこで、「高齢者運転免許証自主返納支援事業」に関して、2点伺う。

①本市が行う交通系ICカードの交付に関する条件や要綱等の概要について
②国が推進しているサポカー補助金制度に関する市民への周知について

A ①運転免許証自主返納者に対して、交通系ICカードを一人当たり五千円（預かり金五百円を含むため、実質利用額は四千五百円分）

を交付します。交付対象者は、免許証自主返納日において満70歳以上、令和2年4月1日以降に有効期間内の運転免許証を自主返納される方で、かつ免許証自主返納日及び支援の申請日において太宰府市民である方になります。

②高齢者の運転免許保有者数が年々増加し、加齢による身体機能や認知機能の低下により、アクセルとブレーキの踏み間違えなどに起因する痛ましい事故が社会問題化しています。

事故を防止する観点からこの制度を市民の皆様へ周知していくことは重要であると認識し、今後、ホームページや広報などで積極的に情報の周知を図ってまいります。

太宰府市議会災害対応調査特別委員会報告

本特別委員会は、令和元年6月定例会において、「市内において大規模災害が発生した場合における議会及び議員の対応に関することを明確にし、迅速かつ的確な災害応急対策、災害復旧及び災害からの復興に寄与することを目的として」構成委員6人で設置されました。

そこで当委員会では、市議会そして議員が災害時に執行部の一助となる適切な行動を明らかにするため、議員の行動のあり方について委員内の意識の統一を図るとともに、平成15年の豪雨災害を経験した委員の話を聞くなど、本特別委員会の役割を再認識しました。

このたび、災害時の議会及び議員の対応に関する事として、議員と議会事務局の行動のあり方を定める「太宰府市議会災害対策対応指針」、「太宰府市議会災害対策会議要綱」及び「太宰府市議会BCP（業務継続計画）」の3つを作成いたしました。



詳細は市議会ホームページを
ごらんください。



前列 徳永委員長 入江副委員長
後列 木村委員 宮原委員 笠利委員 門田委員